

勤医協中央病院

病院ボランティアの紹介

病院職員とボランティアが共同で取り組む 患者さんと家族が安心して医療を受けられる病院づくり

高齢化が進む地域社会では、患者さんも、付き添う家族も高齢であるケースが増えてきました。受診受付時に援助が必要だったり、移動時に車いすが必要だったりします。看護部では病院ボランティアの皆さんと共同しながら、患者さんが安心して受診できる体制を継続的に整えていきたいと考えています。



たくさんのボランティア活動が行われています

○ 外来

院内案内や車いす介助などの活動を通じて、患者さんや家族から「いいもの」をいただいています。来院された方に気持ち良く帰っていただけるよう心がけています。これからも力を合わせて、頑張っていきます。



小坂さん

○ 車いす清掃

友の会新聞でボランティアの存在を知り参加しました。月に1回、病院で使用している車いすの清掃をしています。認知症予防にも良いと思いますので、これからも頑張ります。



佐々木さん

○ 布きり

16人、17人が月に2回集まり、病院で汚物処理に使う布を確保するための布きりをしています。わいわいと楽しく、心を通い合わせながら作業しています。健康維持に努め、未長く活動を続けたいと思っています。



二ノ神さん

○ 患者図書室「こらぼ」

「地域に開かれた図書室にしたい」という病院の方針を知り、お手伝いを申し出ました。患者さんが治療について学べる書籍をたくさん置いています。患者さんの立場を知るために、私たちも書籍を通して学んでいます。



佐藤さん

木綿やメリヤスの布地を洗濯してご提供いただけますと助かります

アロマハンドタッチングケア



ホスピスケア病棟で、毎月1回、アロマテラピーと肌と肌が触れ合うハンドタッチングの両方を使った癒しを提供しています。自然の香りを楽しむ喜びやときめきを感じていただきたいと思っています。



吉田さん

傾聴



患者さんがホスピスケア病棟に来て、人として大切にされ、心が穏やかになれる様子を長年見てきました。患者さんのお話を聞けるのは「ありがたいこと」と感謝しながら、毎週1回の活動をしています。



山田さん

生け花



毎月、玄関前の生花を生けに来了います。季節を感じる花を選ぶ楽しみがありますが、11月と2月はいつも悩んでいます。喜んでいただけるように頑張ります。



後藤さん

がんサロン「ゆい」



月に1回、乳がんの患者さんの傾聴をしたり、私自身の体験談をお話ししたりしています。

沈んだ気持ちでいらした患者さんがお帰りになる時に、少しでも希望を感じていただけたら……と思ながら活動しています。



鍋谷さん

ふれあいの家「さくら草」



2015年11月に活動を開始し丸2年。毎月2回開催している「おしゃべりサロン」で、昼食やティータイムの準備をし、地域の高齢者を迎えています。「楽しかった」と言ってもらえるように、手芸やゲームを楽しんでいただいています。手芸係、食事係、お世話係などの役割を5、6人で分担するなど、「さくら草」の活動は、チームワークで成り立っています。



西村さん

植物管理



院内の観葉植物の鉢やホスピスケア病棟の庭の手入れをしています。新病院開院時に「お祝いの鉢植えが枯れないように手入れをしたい」と申し出たのが始まりです。植物から元気をいただきながら続けています。



清澤さん

ボランティアに参加をご希望の方は
お電話またはFAXでお問い合わせください

勤医協中央病院 地域医療課

(担当：阿部真智子)

電話・FAX

011-782-3317

電話受付時間 平日 9:00 ~ 17:00





交流会では、素敵な笑顔が溢れました



オカリナ演奏会



奏者 東区在住の
風間久美子さん（左）と萩原敏恵さん（右）

- 曲目**
- ①ブラームスの子守歌
 - ②ダークダックスの銀色の道
 - ③美空ひばりさんの真っ赤な太陽
 - ④ビゼー作曲の小さな木の実
 - ⑤ザ・ピーナッツの恋のバカンス

